

春の交通安全県民運動に合わせ福岡県庁でドライブレコーダー普及

～福岡県庁本館でドライブレコーダーの啓発媒体は配付し、必要性を呼びかけ～

日本損害保険協会 九州支部委員会(委員長:大久 孝一・損害保険ジャパン株式会社 専務執行役員)では、春の交通安全県民運動の期間(5月11日(木)～5月20日(土)※土日を除く)に、福岡県庁1階ロビーにブースを出展し、ドライブレコーダーの必要性を呼びかけました。

「春の交通安全県民運動」の実施主体である「交通事故をなくす福岡県県民運動本部」に参画する損保協会九州支部では、これまでも飲酒運転をはじめとした交通事故防止に関する啓発活動等に協力してまいりました。今回の「春の交通安全県民運動」では、当該運動推進要綱に掲げられた「ドライブレコーダーの普及促進等に関する広報啓発の推進」を、損害保険業界としても実施すべく、保険会社で実際に扱っているドライブレコーダーの機能や必要性をご紹介し、来庁者や県庁職員の検討の一助となるように、昨年に引き続き啓発活動を実施しました。

期間中は、損害保険会社の社員および協会職員が、チラシ配付を行いました。

興味を持たれた来庁者等には、ドライブレコーダーを設置することにより、「あおり運転」や「飲酒運転」から自分自身やご家族を守る効果や、実際に事故にあった際に録画した動画が保険会社に連携されることにより、迅速な紛争解決が図れることを説明しました。

また、ブースでは、損害保険会社各社のドライブレコーダーの展示やポスターおよびドライブレコーダーの活用動画も放映するなど、来庁者等に関心を引いていただけるようにしました。

損保協会九州支部では、引き続き、県や関係団体等との連携・協力関係を深めながら、福岡県の安全・安心まちづくり活動に寄与できるよう取り組んで参ります。



ブースの全体像



説明の様子